

郷土・桜の史跡めぐり ウォーキング ～地区社協・文化部主催～

令和2年11月8日（日）、史跡めぐりウォーキングを開催し、45名の方にご参加頂きました。

当日は天候にも恵まれ、ウォーキングを楽しむことができました。

桜地区市民センターから、【きょうそんほっし教尊法師の碑】、【ひ地蔵堂】、【じぞうどう瑞光の石碑】、【ずいこう桜神社跡の碑】、【せきひ安正寺】の5か所を訪れ、桜郷土史研究会の方々に解説して頂きました。

参加者からは、「普段、町を見て回ることがないので良かった」、「また、ほかの史跡も見てみたい」、「地元に住んでいても、歴史は知らなかった」との感想が寄せられ、身近な文化財に親しむことができました。今回のウォーキングも盛況のうちに終わることができました。参加者の皆様、ありがとうございました。

最後になりましたが、見学にご協力くださった地元の皆様、安正寺の皆様、桜郷土史研究会の皆様に感謝申し上げます。



安正寺本堂まえにて

史跡めぐり ウォーキングマップ ～桜町山上・一色～



① 教尊法師の碑



② 地藏堂



③ 瑞光の石碑

湯の山線

至桜駅→

753

ローズ幼稚園

金福寺

八幡神社

坂井歯科

さくら歯科・
さくらクリニック

桜小学校

TMJII

④ 桜神社跡の碑



桜地区市民センター



⑤ 安正寺



桜在宅介護支援センターからのお知らせ

市役所に代わって相談業務を行う公的な相談窓口です。
桜地区は、桜在宅介護支援センターが窓口です。

高齢者の生活や
介護の相談は

☎059-326-6618へ
お気軽にお電話ください!



福祉セミナー

「くすりのはなし」



主催：桜地区社会福祉協議会
共催：NPO法人桜ボランティア協会

1月24日（日）桜地区市民センターにおいて、四日市薬剤師会の武下美穂さんをお招きして、在宅医療について「くすりのはなし」をテーマに講演会が開催され、「薬の正しい服用」、「薬の保管」、「上手な医者のかかり方」などについて講演されました。

特に風邪薬を例に話され、市販の風邪薬でいろいろな症状に効き目がある「総合感冒薬」と、お医者さんで処方された、一症状に直接効き目のある薬とでは違いがあるとのこと、早めにかかりつけのお医者さんに相談して診てもらおうようにとお話しされました。

また「薬の保管」については色々な薬を長期間無造作に保管していると、変色や変型したり「なんの薬だったのかな?」と分からなくなるので、必ず適正な場所に保管し、薬と説明書を一緒にして袋ごとに入れて置く事も大事との事でした。参加者からは多くに質問が出て、丁寧にお答え頂き、これからの健康管理に十分活かしていきたいと感じたところです。



講師 武下美穂さん



「冬鳥のバードウォッチングを楽しもう！」

～地区社協・文化部主催～

1月31日（日）桜地区市民センター周辺で「バードウォッチング」が開催されました。昨年までは40名程の参加者がありましたが、今年はコロナ禍の為、人数を減らしソーシャルディスタンスを保ちながら参加者20名が2班に分かれて野鳥の観察を行いました。

日本野鳥の会の川瀬さん、環境学習センターの木村さん、桜ヶ丘の戸田さんの解説を伺いながら、今までで一番多い26種類の野鳥を観察することが出来ました。中でも鷹の一種でノスリが2羽一緒にいる大変珍しい光景が見られたり、オオタカ、メジロも6年ぶりに観察することが出来、大変有意義な一日でした。



観察できた野鳥

オオタカ、トビ、チョウゲンボウ
ノスリ、カワウ、カルガモ、アオサギ
セグロセキレイ、ハクセキレイ
ビンズイ他16種類



地区文芸

桜花台俳句愛好会

三井寺の闇を劈く除夜の鐘
 春時雨鉛筆うすき母の文
 抗ひて素足の娘らに春速し
 春泥にふさげし児等の声響く
 春日浴び偶然ありて水墨美
 花の雲清水寺に朱印受く

山路 悦子
 小倉 久子
 織田 恵美子
 勝又 正子
 神田 正子
 諸岡 さとの

さくら俳句

指導 坂口 緑志

古井戸の神も出雲へ立たれたり
 伸びをして又寝る犬や春の雨
 畳へと十六夜の月忍び入る
 藤籠にいつも蜜柑の二つ三つ
 うららかなや手乗りいんこの爪を切る
 絵手紙に笑顔こぼるる日向ぼこ
 夫病みし心細さや薄氷
 小谷城址松に寄りそふ紅葉照る
 ぼろ苦き思ひ出もあり路のたう

賀川 澄子
 西井 恵子
 松平 瑠美子
 山路 悦子
 小倉 久子
 麻生 七子
 直江 由美
 伊藤 千恵子
 勝又 正子

桜連合文化祭

令和2年11月22日



新鮮朝市

令和2年12月20日



編集後記

この一年は、コロナに明けコロナにくれた予想外の年でした。それぞれの方が、家庭や仕事や社会の中で苦労された一年でもあったと思います。

まだしばらくは、自粛をいられる生活が続くと思いますが、こんな時にこそ、社協の活動の様子や地域の情報を発信することが広報部の役目だと感じています。今後も毎日の生活を工夫し、この難局を乗り越えていきましょう。

最後に、このような状況の中でも様々なイベント開催にご尽力され、取材にご協力くださいました方々に篤くお礼を申し上げます。

(広報部一同)



ありがとうございました

次の方々から、善意のご寄付をいただきました。
 (令和2年8月～令和3年1月)

●香典返し(敬称略)

智積町	柳	浩美	智積町	川合	時嗣
智積町	宮崎	浩一	桜花台	小林	久晃
桜町	奥山	勤	智積町	村田	竹義
智積町	芳山	将史			